

2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月13日

上場会社名 アビックス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7836 URL <http://www.avix.co.jp>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 岩切 敏晃
 問合せ先責任者（役職名） 取締役副社長（氏名） 桐原 威憲 (TEL) 045-670-7720
 半期報告書提出予定日 2024年11月13日 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	1,768	10.5	132	42.9	50	357.8	46	510.1	24	—
2024年3月期中間期	1,599	22.3	92	346.2	11	—	7	—	△4	—

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 9百万円(61.0%) 2024年3月期中間期 6百万円(—%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
2025年3月期中間期	円 銭 0.71	円 銭 —
2024年3月期中間期	△0.13	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2025年3月期中間期	百万円 2,683	百万円 1,558	% 58.1
2024年3月期	2,797	1,554	55.4

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 1,558百万円 2024年3月期 1,550百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	4,000	7.3	290	6.8	120	12.8	114	9.2	89	11.2	円 銭 2.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却費

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2025年3月期中間期	35,129,566株	2024年3月期	35,129,566株
2025年3月期中間期	一株	2024年3月期	一株
2025年3月期中間期	35,129,566株	2024年3月期中間期	35,129,566株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (中間期)

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	1
(1) 当中間期の経営成績の概況	1
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 中間連結貸借対照表	3
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
中間連結損益計算書	5
中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や、インバウンド需要や輸出関連企業を中心とした好業績に支えられ緩やかな回復基調で推移しました。一方で、世界的な金融引き締めに加えて中国経済の減速、長期化するウクライナ情勢や中東地域の情勢悪化等による資源価格高騰や急激な円安の進行などに伴う物価高の影響などにより、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況の中、「デジタルサイネージ業界No. 1」を掲げ、引き続き積極的な拡大策を展開してまいりました。為替変動の影響や、マーケットにおける価格競争の影響に対応すべく、新たなラインナップを調達することに加え、引き続きデジタルマーケティングに注力しWebからの情報収集を強化、獲得案件の増加や、新しいマーケットや新規顧客も開拓することができ、代理店との連携強化も進めており案件を受注することができております。

これらの結果、当中間連結会計期間における業績は、売上高1,768,056千円(前年同期比10.5%増)、営業利益50,482千円(前年同期比357.8%増)、経常利益46,765千円(前期同期比510.1%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は24,861千円(前年同期4,679千円の親会社株主に帰属する中間純損失)となりました。

また、当中間連結会計期間におけるセグメントごとの業績は以下のとおりです。

①デジタルサイネージ関連事業

デジタルサイネージ関連事業は3部門あり、機器リース部門では主にデジタルサイネージのリース、運営部門ではデジタルサイネージ向けを中心とした販促支援サービス(コンテンツ配信等のソフト面でのサービスやメンテナンスの他、新たな販促支援サービス)の提供、情報機器部門ではデジタルサイネージの製造・販売を行っております。

機器リース部門、運営部門につきましては、リースや月額利用料の契約といったサブスクリプションサービスであることから、契約の増加が安定的な収益につながっております。

特に、CMS(コンテンツマネジメントシステム)「DiSi cloud」は堅調に推移しており、契約数、売上ともに増加いたしました。また、「AIサイネージソリューション」につきましても、契約数が着実に増加しており、今後も「DiSi cloud」を軸とし、AIサイネージソリューション等を連携したデジタルプラットフォーム「MiRAi PORT」を積極的に展開してまいります。

情報機器部門につきましては、商業施設やオフィスエントランスなどの大型案件の受注に加え、代理店との連携強化により、新しいマーケットや新規顧客も開拓する事が出来ました。

以上の結果、デジタルサイネージ関連事業は売上高1,697,889千円(前年同期比9.7%増)、セグメント利益50,095千円(前年同期比335.0%増)となりました。

②Value creating事業

デジタルプロモーション株式会社が運営するValue creating事業につきましては、自ら運営するハイパーローカルメディア「タウンビジョン」や地元密着の記者、各種SNSサービスの活用やターゲットユーザーに響くコンテンツ(記事、動画)制作により、地域での企業のPR、ファン作り、集客からブランディング、また地方自治体の魅力あるコンテンツ開発など地域に係るエリアファンマーケティング(地域密着型マーケティング)を行っております。

当事業はサブスクリプションモデルの事業が中心となっていることもあり、前期に引き続き安定的に売上を計上することができております。将来的に当社グループの基幹事業とするべく、引き続き拡大展開を進めてまいります。

以上の結果、Value creating事業は、売上高70,167千円(前年同期比32.8%増)、セグメント利益386千円(前年同期は488千円のセグメント損失)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

(資産)

当中間連結会計期間末の資産は、2,683,327千円(前連結会計年度比114,054千円の減少)となりました。その主な要因は、売掛金が減少したことによるものです。

(負債)

当中間連結会計期間末の負債は、1,125,206千円(前連結会計年度比117,894千円の減少)となりました。その主な要因は、長期借入金が減少したことによるものです。

(純資産)

当中間連結会計期間末の純資産は、1,558,120千円(前連結会計年度比3,839千円の増加)となりました。その主な要因は、利益剰余金が増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の業績予想につきましては、2024年5月14日に発表いたしました業績予想に変更はございません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	702,466	921,640
受取手形	9,640	1,650
電子記録債権	106,765	89,457
売掛金	804,356	518,839
商品及び製品	154,582	195,872
仕掛品	23,380	25,772
原材料	3,613	5,498
前渡金	229,834	211,094
その他	14,431	16,901
貸倒引当金	△17	△12
流動資産合計	2,049,051	1,986,714
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備(純額)	23,165	21,739
車両運搬具(純額)	476	356
工具、器具及び備品(純額)	96,202	120,704
レンタル資産(純額)	12,706	10,357
リース資産(純額)	7,312	5,087
有形固定資産合計	139,864	158,244
無形固定資産		
のれん	491,172	437,589
その他	21,443	23,192
無形固定資産合計	512,615	460,782
投資その他の資産		
投資有価証券	60,489	52,504
その他	35,360	25,082
投資その他の資産合計	95,850	77,586
固定資産合計	748,330	696,613
資産合計	2,797,382	2,683,327

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	229,843	253,077
1年内返済予定の長期借入金	199,730	164,796
リース債務	5,151	4,795
未払法人税等	17,900	15,139
賞与引当金	30,807	32,597
前受金	75,542	46,132
その他	128,114	107,517
流動負債合計	687,091	624,056
固定負債		
長期借入金	375,025	296,400
リース債務	3,222	1,003
繰延税金負債	27,328	34,325
預り保証金	150,000	150,000
その他	434	19,420
固定負債合計	556,010	501,150
負債合計	1,243,101	1,125,206
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,207,564	1,207,564
資本剰余金	615,454	615,454
利益剰余金	△275,477	△250,615
株主資本合計	1,547,541	1,572,402
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,088	4,101
繰延ヘッジ損益	—	△18,383
その他の包括利益累計額合計	3,088	△14,282
非支配株主持分	3,650	—
純資産合計	1,554,281	1,558,120
負債純資産合計	2,797,382	2,683,327

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	1,599,999	1,768,056
売上原価	1,121,688	1,242,474
売上総利益	478,310	525,582
販売費及び一般管理費	467,283	475,099
営業利益	11,027	50,482
営業外収益		
受取利息	602	682
受取配当金	135	150
保険解約返戻金	—	4,720
その他	278	1,118
営業外収益合計	1,016	6,671
営業外費用		
支払利息	4,133	2,781
持分法による投資損失	—	6,213
為替差損	—	685
その他	245	707
営業外費用合計	4,378	10,388
経常利益	7,665	46,765
特別損失		
固定資産除却損	0	0
役員退職慰労金	—	5,000
特別損失合計	0	5,000
税金等調整前中間純利益	7,665	41,765
法人税、住民税及び事業税	3,315	8,125
法人税等調整額	6,496	6,496
法人税等合計	9,812	14,622
中間純利益又は中間純損失(△)	△2,146	27,143
非支配株主に帰属する中間純利益	2,532	2,282
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△4,679	24,861

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益又は中間純損失(△)	△2,146	27,143
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,143	1,012
繰延ヘッジ損益	7,072	△18,383
その他の包括利益合計	8,216	△17,370
中間包括利益	6,069	9,772
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	3,536	9,772
非支配株主に係る中間包括利益	2,532	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	7,665	41,765
減価償却費	27,907	28,178
のれん償却額	53,582	53,582
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△296	△4
受取利息及び受取配当金	△738	△833
賞与引当金の増減額(△は減少)	△921	1,789
支払利息	4,133	2,781
持分法による投資損益(△は益)	—	6,213
売上債権の増減額(△は増加)	502,295	310,815
棚卸資産の増減額(△は増加)	△181,173	△45,568
仕入債務の増減額(△は減少)	△97,909	23,234
前渡金の増減額(△は増加)	115,827	18,740
保険解約返戻金	—	△4,720
その他	△27,715	△60,832
小計	402,657	375,143
利息及び配当金の受取額	738	233
利息の支払額	△3,893	△2,790
法人税等の支払額	△6,981	△10,561
法人税等の還付額	—	1,112
営業活動によるキャッシュ・フロー	392,521	363,136
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△713	△730
有形固定資産の取得による支出	△26,175	△39,552
無形固定資産の取得による支出	△3,112	△5,895
差入保証金の差入による支出	—	△3,121
保険積立金の払戻による収入	—	21,501
その他	△4,843	△30
投資活動によるキャッシュ・フロー	△34,844	△27,827
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△200,000	—
長期借入金の返済による支出	△141,725	△113,559
リース債務の返済による支出	△7,877	△2,575
財務活動によるキャッシュ・フロー	△349,602	△116,134
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	8,074	219,174
現金及び現金同等物の期首残高	421,244	702,466
現金及び現金同等物の中間期末残高	429,318	921,640

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		調整額 (注1)	合計
	デジタル サイネージ関連	Value creating		
売上高				
外部顧客への売上高	1,547,142	52,856	—	1,599,999
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,628	81	△1,710	—
計	1,548,770	52,938	△1,710	1,599,999
セグメント利益又は セグメント損失(△)	11,516	△488	—	11,027

(注) 1 セグメント売上高の調整額△1,710千円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整後の合計額は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3 セグメント利益又はセグメント損失(△)には、適当な配賦基準によって、各報告セグメントに配賦された全社費用を含んでおります。

II 当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		調整額 (注1)	合計
	デジタル サイネージ関連	Value creating		
売上高				
外部顧客への売上高	1,697,889	70,167	—	1,768,056
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,461	2,630	△4,091	—
計	1,699,350	72,797	△4,091	1,768,056
セグメント利益	50,095	386	—	50,482

(注) 1 セグメント売上高の調整額△4,091千円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益の調整後の合計額は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3 セグメント利益は、適当な配賦基準によって、各報告セグメントに配賦された全社費用を含んでおりません。